



World Supersport Championship round - 5 Italy Mugello May 13

大久保光一予戦 8 番手 決勝 10 位

World Supersport Championship (WSS) の第 5 戦がイタリア、ムジェロサーキットで開催されました。チームメイトのケナンの引退など、チームでは慌ただしい動きがありましたが、大久保光は、いともと変わらずにレースに集中することが出来ました。

金曜日の走行では自己ベストを更新し 9 番手となり、スーパーポール 2 への進出を決めました。最終グリッドを決める予選では、開始直後に雨がバラバラと落ち、ドライコンディションで周回出来たのは 1 周という状況でした。その機会を逃すことなく、アタックに飛び出し 8 番手となりました。

決勝は、好ダッシュしスタートを決め、上位陣の争いに加わります。ですが、開幕から連続リタイヤのため、きっちりとレースを走るのは初めてとなり、フルタンクのマシンでの走行、ロングランの感触、全てが、手さぐりという状況の中で、絶対にチェッカーを受けようと決意の走行を続け 10 位で走り切りました。今季初の完走に、チームスタッフの喜びも大きく、順位以上の結果を残したと言えます。ここから、大久保にとっての今季が始まりました。これからの更なる飛躍を誓っています。

大久保光

「10 位という結果に満足することはできませんが、完走してチェッカーを受けることが出来たことを報告することが出来たことにホッとしています。心配をかけて、本当に申し訳ありませんでした。

今回は、絶対に走り切ると思い決勝に挑みました。予選では、ワンチャンスに賭けるような状況でした。8 番手になりました。ですが、ブッシュして転倒してしまうことは避けたいという気持ちがありました。100%のアタックが出来なかった後悔があります。ですが、大事なのは、決勝なので、ポジションを上げて行こうと思いました。

スタートが決まって、上位につけることが出来たのですが、結果は 10 位となりました。悔しい結果ですが、今回、初めてフルラップを走りことで、見えてきたことがたくさんありました。ガソリンがフルフルタンクから、減って行く段階でのマシンの状況の変化、バイクをどうアジャストすべきなのか、見つめ直す機会にもなりました。これまでの 4 戦を戦って来たライバルたちの走りを見ることが出来、その中での、自分の弱点や強みも確認しました。

ここから、ドニントン、ブルノ、ミサノと続きます。ここでの結果が、シリーズ後半への流れを決めると 생각합니다。チーム一丸となって、トップ 5 フィニッシュ、表彰台という目標をサマーブレイクまでに達成したいと思っています」

※次戦は 5 月 25 日イギリスで開催されます。

◆チームリリースに関するお問い合わせ先 : no1_hikari@yahoo.co.jp [大久保 光]

